

令和2年度 若狭地域の食文化の伝承

「なれずし作り」(R2.12.12(土)～13(日))

令和2年度 教育事業 若狭地域の食文化の伝承

「なれずし」からみるSDGs

なれずし作り

令和2年12月12日(土)～13日(日)

対象：中学生～高校生
定員 30人程度

申込方法：QRコードから

応募締切：10月 30日(金) 17:00

なれずし作りの様子を写真や動画によって、自分だけの動画を作ってみよう

日程(予定)	12月12日(土)	12月13日(日)
午前		なれずし作り②(なれずし工房) 研修② 動画編集・発信(自然の家)
午後	研修① 動画編集(自然の家) なれずし作り①(なれずし工房:旧田島小)	解散
夜	研修② 動画編集(自然の家)	

自然の家 LINE はじめました

後援(申請中): 福井県教育委員会 小浜市教育委員会

独立行政法人国立青少年教育振興機構
国立若狭湾青少年自然の家
〒917-0198
福井県小浜市田島区大浜
TEL: 0770-54-3100
FAX: 0770-54-3023
担当: 伊藤・吉田

◆目的

- ・ 高校生が、SDGsの視点、探究的な活動の要素を盛り込みながら、若狭地域の伝統的な食文化に触れることを通して、自分と身近な地域の魅力を考えたり、発信したりできるようにする。
- ・ 地域食材「なれずし作り」を通して、動画を作成・編集し発信する。
- ・ SDGsの視点
【持続可能な消費と生産(12)】、
【海の豊かさを守ろう(14)】

◆参加実績

参加 高校生 4人

◆プログラム<1泊2日>

① 受付

- ・ 職員は、コロナ対策をして参加者を受け入れる

② はじまりのつどい

- ・ あいさつ、活動の流れを説明

③ 動画編集①「撮影方法等」

④ なれずし作り体験①(へしこのかわはぎ)

⑤ 動画編集②「編集方法等」

⑥ なれずし作り体験②(米麴いれ)

⑦ 動画編集③「作成動画発表」

⑧ おわりのつどい

- ・ あいさつ、解散

◆成果

- ・ 参加した4人が満足と答えた。
- ・ なれずしを作るだけでなく、作っている様子の発信を目的に動画撮影にすることで高校生が意欲的に参加することができた。
- ・ 伝統的な食文化のなれずしは、若狭地域の気候(冬の寒さ、湿度など)も関係して、地域に根付いていることが学べた。
- ・ 成果物として、一人二つの動画を作成することができた。





◆参加者の声

- なれずし作りの体験ができてよかった。
- 友達に誘われてきたけど、2日間楽しかった。
- 楽しかったです
- 係の方もとても優しく、2日間楽しく過ごすことができた。とても貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございました。



◆事業運営のツボ・工夫・反省

- 高校生の参加を呼びかけるため、動画作成を導入し、参加を呼びかけた。意欲的に参加してくれた4名だったので、満足のいく動画が作れていた。
- 動画作成については、講師を招いて、高校生に動画の作成についての基本の事や導入など、わかりやすく説明していただいたことで、高校生も抵抗なく動画作成、編集することができた。
- なれずし作りでは、講師の森下佐彦氏を招いて、なれずしの歴史、地域に根付いた文化などの話は、SDGsの視点の【持続可能な消費と生産 (12)】、【海の豊かさを守ろう (14)】を学び取ることができた。
- 作成した動画も一人ずつ発表ができ、参加者同士で共有できたのがよかった。
- なれずし作りの作業よりも動画の資料のための撮影に時間がかかり、予定よりも多くの時間を割いた。
- 自然の家～田烏の往来で時間がかかるため、自然の家ですべて活動ができるようにすればよかった。
- 今回の募集については、中学校と高校にポスターを配布した。しかし、対象の学生に周知が行き届いていないと思われる。担当の先生に、広報、周知をしてもらうように活動をしてもらいたいかもしれないと感じた。
- 今回の事業に興味を持つように動画作成を企画したが、参加者が少なかった。次回の募集は、今回の事業の様子を動画で募集して、魅力あるものにして、参加を募っていかなければいけない。



◆事業運営費	合計	92,163円
講師謝金		86,520円
消耗品費		323円
通信運搬費		168円
印刷費		5,152円

